学習課題　　【日本の偉大な発明家たち】

授業目標

|  |  |
| --- | --- |
| 知識・技能 | 知的財産権の基礎知識を身につける。 |
| 思考力・判断力・表現力等 | 偉人たちの具体的な功績を知り，その生まれた背景について考える。 |
| 学びに向う力等  （現代的な課題） | 偉人たちの功績が，現代の生活を豊かにしていることを知り，自らもすすんで技術に興味・関心を持つ。 |

活動① １条理解

|  |
| --- |
| 特許法　　　昭和三十四年  （目的） 第一条  この法律は，発明の保護及び利用を図ることにより，発明を奨励し，もつて産業の発達に寄与することを目的とする。 |

活動②　日本の偉大な発明家たちの紹介

|  |
| --- |
| 1)豊田 佐吉　　　特許第1195号　木製人力織機  2)御木本 幸吉　　特許第2670号　養殖真珠  3)高峰 譲吉　　　特許第4785号　アドレナリン  4)池田 菊苗　　　特許第14805号　グルタミン酸ソーダ  5)鈴木 梅太郎　　特許第20785号　ビタミンB1  6)杉本 京太　　　特許第27877号　邦文タイプライター  7)本多 光太郎　 特許第32234号　KS鋼  8)八木　秀次　 　特許第69115号　八木アンテナ  9)丹羽　保次郎 　特許第84722号 写真電送方式  10)三島 徳七　 特許第96371号 MK磁石鋼 |

活動③　身近なアイデアや工夫の紹介

|  |
| --- |
| ・付箋紙のアイデア  ・カッターナイフのアイデア  ・ステイオンタブの工夫 |

活動④ 有名になった特許権取得の話

|  |
| --- |
| 日本の事例  日清食品の安藤百福（ももふく）会長  「ドンブリと箸さえあれば，どこでも食べられるラーメン」という発想  世界初の即席麺「チキンラーメン」の発明  1958年に発売 「お湯をかければ出来上がる魔法のラーメン」として，大ヒット  1962年に製造特許が認められる |

活動⑤ まとめ

|  |
| --- |
| 特許を受ける対象：  →自然法則を利用した，新規かつ高度で産業上利用可能な発明を保護  特許を受ける要件：  （1）産業上利用することができる発明  （2）新規性のある発明  （3）進歩性のある発明  （4）先願の発明 （5）公序良俗を害するおそれのない発明 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 能　力 | 項　目 | A | B | C |
| 知識・技能 | 知的財産権の基礎知識を身につける。 | 特許権の目的，取得の条件を理解する | 特許権の目的や取得の条件を知る。 | Ｂの基準に達していない。 |
| 思考力・判断力・表現力等 | 偉人たちの具体的な功績を知り，その生まれた背景について考える。 | 偉人たちの具体的な功績を知り，その生まれた背景について考える。 | 偉人たちの具体的な功績を知る。 | Ｂの基準に達していない。 |
| 学びに向う力等  （現代的な課題） | 偉人たちの功績が，現代の生活を豊かにしていることを知り，自らもすすんで技術に興味・関心を持つ。 | 偉人たちの功績が，現代の生活を豊かにしていることを知り，自らもすすんで技術に興味・関心を持つ。 | 偉人たちの功績が，現代の生活を豊かにしている技術を知る。 | Ｂの基準に達していない。 |

評価規準